

(市長提出議案)

議案番号	議案名	議決結果	黎明21					新政策研究会					発言と行動する会		公明党		日本共産党		ま			
			加藤誠一	吉野修	秋山佳弘	新井教司	梁瀬里夫	松本安夫	野口啓造	柴崎登美夫	野本翔平	小林友明	香川宏行	吉田豊彦	細谷美恵子	高橋弘行	石井直彦	江川直一	二本柳妃佐子	大河原梅夫	斉藤博美	大久保忠
第29号	行田市消防手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
第30号	行田市公共下水道緑町ポンプ場建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
第31号	行田市道路線の認定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第32号	行田市道路線の廃止について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(請願)

議案番号	請願内容	採択	加藤誠一	吉野修	秋山佳弘	新井教司	梁瀬里夫	松本安夫	野口啓造	柴崎登美夫	野本翔平	小林友明	香川宏行	吉田豊彦	細谷美恵子	高橋弘行	石井直彦	江川直一	二本柳妃佐子	大河原梅夫	斉藤博美	大久保忠	三宅盾子
第1号	秩父線行田市駅にエレベーターの設置を求める請願	不採択	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○
第2号	日本国憲法第九条の改正の発議について、慎重に取り扱うよう求める請願	//	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
第3号	「2歳児のフッ素塗布事業」の廃止を求める請願	//	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
第4号	行田市小針に購入済みの約8万㎡の新処理施設建設予定地に新処理施設建設を求める請願	//	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	棄権
第5号	建設アスベスト被害者の早期救済と補償基金制度の創設を国に求める意見書提出の請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(議員提出議案)

議案番号	議案内容	採択	加藤誠一	吉野修	秋山佳弘	新井教司	梁瀬里夫	松本安夫	野口啓造	柴崎登美夫	野本翔平	小林友明	香川宏行	吉田豊彦	細谷美恵子	高橋弘行	石井直彦	江川直一	二本柳妃佐子	大河原梅夫	斉藤博美	大久保忠	三宅盾子
第1号	建設アスベスト被害者の早期救済と補償基金制度の創設を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号	行田市会議規則の一部を改正する規則	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。(可否同数の場合は議長裁決となります。)

議員提出議案

意見書
関係機関に送付

○建設アスベスト被害者の早期救済と補償基金制度の創設を求める意見書
(原案可決)

2005年に尼崎市の(株)クボタ神崎工場におけるアスベスト被害の公表以降、アスベスト問題は深刻な社会問題として認識されるようになりました。

アスベストは建設資材としての使用が輸入量の7割を占めており、建設従事者はアスベストの最大の被害者となっています。そのため全国各地で建設業従事者と遺族を原告とした国とアスベスト建材製造企業に対する裁判が行われています。

2017年末までの建設アスベスト訴訟では、国に対して7度に渡り有罪判決が下され、企業についても一昨年・昨年で3度に渡り法的責任が認められました。

このような司法判断のもと、

建材製造企業8社では、補償基金制度創設について「国からの要請があれば検討する用意がある」と態度表明を行っています。

また他産業では、従業員らによるアスベスト被害訴訟に対し、判決を待たずして被害者救済の観点により和解を行った企業もあります。

このような状況を鑑み、行田市議会は、政府と国会に建設アスベスト被害者の早期救済と補償基金制度の創設を求めます。

(提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣)

規則
の廃止に伴う改正

○行田市議会議規則の一部を改正する規則
(原案可決)

議会改革の一環として、本会議の会議録の作成について平成27年度から導入している議場システムの録音機器の性能が向上したことから、本会議における速記者を廃止することに対応するため、規則の一部を改正するものです。